

JAM組織内予定候補者「藤川しんいち」氏推薦決定について

日頃のご活躍に敬意を表しますとともに、労働組合諸活動へのご理解とご協力に感謝いたします。
さて、井関農機労働組合では、6月2日に中央執行委員会を開催し、来る2016年7月予定の参議院議員選挙において、現JAM副会長「藤川しんいち」氏の推薦を決定いたしました。

現在、国会では、時の政府により憲法解釈変更を閣議決定し集団的自衛権による武力行使を可能とする安保法制に加え、強行採決された派遣法の改悪につづき、残業代ゼロ法案と揶揄される、高度プロフェッショナル制度など、さまざまな労働者いじめの法案が採決されようとしています。残念ながら、民主党をはじめとした我々労働者のよって立つ勢力は、近年の国政選挙において大きく力をそがれており、数的優位に立つ政府与党に対抗するのが困難な状況です。しかし、このような状況をいつまでも、指をくわえて眺めることはできません。労働組合活動の目的である、労働者の経済的地位の向上には、労働組合の目指す政策制度の実現が不可欠であり、それを可能にするのは選挙しかありません。

中小ものづくりメーカーが多く集まるJAMを代表して、JAMの運動を継承していくために、「藤川しんいち」氏が立候補を決めました。JAM組合員35万人の代表として、ものづくり産業に働く労働者の代弁者として、国政に我々の声を届け、額に汗して働くものが報われ、活力が生まれる政治に変えていくため、井関農機労働組合は「藤川しんいち」氏を支援して参ります。具体的な取り組みについては、今後JAM方針に従いながら進めて参りますので、ご協力をお願いいたします。

藤川しんいち 氏は、職場委員からスタートし、執行委員、執行委員長と歴任し、労働運動の真ん中を歩み、その先頭に立って活動を牽引してきました。ものづくりの現場、労働組合活動の現場を知っている人物であり、JAMの運動そのものです。